ーツ同士
イプを守
。使い慣
に悪戦苦
技能士か
さえて、
に力を入
ドバイス
作してい

技術とい
に当たっ
が教えら
の上辺に
のよう
口の方々
その仕事
生徒たち
激になっ
った。

技能士は
略）。
平村設備
ノ（富士
（中国産

45㎡）、紫外線処理棟建築工（RC造延べ63・09㎡）、管布設工（導水管、

方針策定業務」の公募型プロポーザルを実施した結果、契約候補者として

約を交わす予定だ。

市は今年9月にプロポーザル実施要領を公表

50万円（税込）。業務期間は2025年3月31日まで。

DEFとASRテーマに議論

第60回定例会開く

広島県コンクリート診断士会

広島県コンクリート診断士会（竹田宣典会長）による第60回定例会が11日、広島市中区で開かれ、所属会員ら約40人が参加。江良和徳副会長がDEF（エトリンガイトの遅延生成）とASR（アルカリ骨材反応）に関する話題を提供し、最新事例などについて意見交換した。

定例会は、同会が会員の技術向上や親睦を目的に発足以来隔月で開催している勉強会。旬の話題などをテーマに講師や趣向を毎回変えながら行われており、この日はコンクリートメンテナンス協会で専務理事兼技術委員長も務める江良副会長を中心に議論した。

江良副会長は、「DEFとASRの判別を行った劣化調査事例の事例紹介」をテーマに、DEFの劣化メカニズムやASRとの違い、亀甲状のひび割れが現れるなど外観上は似た特徴があるとされるDEFとASRを判別した実際の業務の概要、試験結果と考察などを紹介し、その見解について各参加者と討議。

竹田会長（広島工業大学）や十河茂幸前会長（近未来コンクリート研究会）らも参加するなど高度な議論が展開されたほか、余興としてChatGPTの回答も取り入れ、終始和やかな雰囲気の中で見識を深めた。

令和6年度版 写真でみる土木工事の施工手順
土木施工の実際と解説
ネットに繋い